

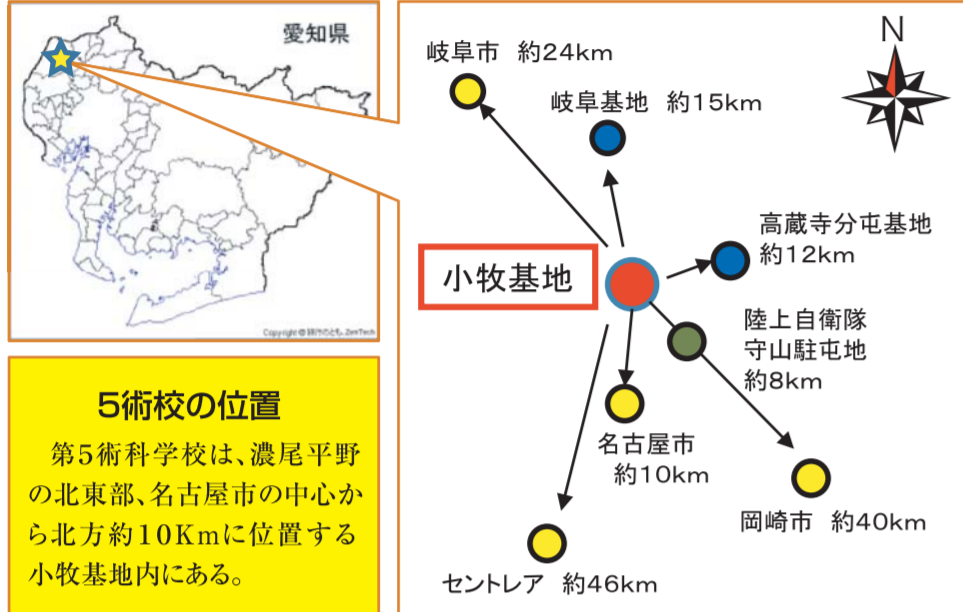


第5術科学校創立50周年を記念し、デザインを一新した。円内の「V」は5術科をイメージし、2機の航空機は、それぞれ教官及び学生をイメージしている。また、中央にある7つの星は、5術科の7機能をイメージしている。



学校本部のある合同庁舎

5術科の位置相関図



5術科の位置

第5術科学校は、濃尾平野の北東部、名古屋市の中心から北方約10Kmに位置する小牧基地内にある。

第5術科学校創立50周年

5th TECHNICAL SCHOOL Since 1962

第5術科学校は平成24年10月1日、創立50周年を迎える。当校の任務は、航空警戒管制及び航空保安管制並びに航空自衛隊の使用する電子計算機のプログラムの利用及び改良等に必要知識及び技能を修得させるための教育訓練を行うとともに、運用等に関する調査研究を行っている。学校長の指導方針である「一意奮闘」のもと、5術科隊員一丸となり、教育及び業務に真摯に取り組み、学生は知識技能の修得に日々励んでいる。

H 24	H 23	H 20	H 18	H 13	H 11	H 6	H 4	H 3	H 2	H 元	S 62	S 61	S 57	S 53	S 52	S 50	S 44	S 41	S 39	S 37	S 34	S 33				
10	3	1	3	7	7	6	4	3	3	3	4	8	7	1	10	3	4	4	3	5	3	10	6	3	1	10
1	14	9	27	31	1	15	26	31	1	31	30	1	1	11	24	1	3	31	12	10	1					

管制教育団新編(松島)、同日小牧基地へ移動
仙台管制教育分遣隊(後の第2分校)新編
高蔵寺管制教育分遣隊(後の第1分校)新編
飛行隊(後の飛行課)新編
第5術科学校新編
第2分校静浜基地へ移動
パッジ正規課程開始
第3分校新編(美保)
第2分校廃止
要撃管制実習装置及び語学練習装置取得
第3航空団の三沢基地移動に伴い基地業務移管
T-33AをT-1Bに機種改編
第3分校廃止
新パッジ正規課程開始
電算機処理員課程正規化
ラフコン(ARTS)シミュレーターによる教育開始
飛行場管制訓練装置運用開始
基地業務を第1輸送航空団へ移管
飛行計画作成実習装置運用開始
CAIシステム導入
中華航空機事故発生に伴う災害派遣
英語集中管理施設(英語村・ALT/EQ)完成
新合同庁舎完成(学校本部新合同庁舎3階移転)
第1分校廃止
飛行課廃止
自動警戒管制システム(JADGE)正規課程開始
東日本大震災発生(3・11)に伴う大規模災害派遣
第5術科学校創立50周年

第5術科学校沿革

学校長挨拶

第5術科学校長 空将補 木村 達人
第5術科学校は、昭和37年10月、学校の前身である管制教育団の廃止に伴い新編され、今年10月をもって創立50周年を迎えました。この間、関係各位から賜りました多くの御指導、御協力、御支援に対し、厚く御礼申し上げます。

第5術科学校は、愛知県の小牧基地に所在し、「知行合一」の教育理念のもと、航空警戒管制、航空保安管制及び電算機プログラムに関する技術教育や英語教育、また職務・訓練等の共通教育も併せて行っています。その卒業生はこれまでの50年間で既に5万3000名を超え、今も主たる作戦運用部隊等において活躍しています。

また、航空保安管制の教育においては、自衛隊唯一の教育機関として、空自のみならず陸・海・空の自衛官に対して実施しており、いわば自衛隊航空管制官全員の母校でもあります。

第5術科学校は、築かれて来た良き伝統を継承しつつも、時代の変化や運用部隊等のニーズを捉え、適宜、教育内容・器材等の改善・改修を図る等、真に役立つ優秀な人材育成のために、今後とも隊員一同、「一意奮闘」してまいります。

第5術科学校綱領

「知行合一」の訓育精神をもって、作戦運用に直結する任務を完遂しうるプロの育成を目指す。

- 一、正義気風
- 一、正勇実
- 一、

解説:常に自らを厳しく律し、国防の大義のために生きることを求めた「正義」、身を挺して任務の遂行に邁進し、正しいと信じる改革を推進する気概を求めた「勇気」、知識のみならず実践する力を養うことを求めた「実学」からなる3徳目の校是。

東日本大震災災害派遣

パレタイズ作業

第5術科学校は、災害派遣等においても活躍する。この未曾有の災害に対し、かねてからの災害派遣計画等に基づき、第1輸送航空隊の実施する空輸活動に参加した。活動内容は支援物資などの輸送機への搭載準備(空輸パレットへの物資の固定・パレタイズと称称)などであった。



支援物資の空輸準備作業(パレタイズ作業)



被災地への空輸(1輸空)

その他の活動

第5術科学校は、今回の東日本大震災で被災した陸前高田市気仙沼中学校生徒の体験学習の受入支援や、過去にはPKOや国際貢献のための人員の差出し等、教育面のみだけでなく、その他の活動においても航空自衛隊の任務遂行の一助をなしている。



気仙沼中学校生徒体験学習支援

教育を支援する部課隊

第5術科学校では、学校運営及び諸業務を円滑に行えるように調整を図る総務課、課程教育や業務計画の立案等を実施する教務課、航空警戒管制部隊及び航空保安管制部隊の運用に関する調査研究等を行う研究部及び教育に支障を来さぬよう教育器材の整備を行う整備部があり、学校教育を陰ながら支えている。



教育器材の保守整備

技術教育

第1教育部

航空警戒管制職域(要撃管制幹部、警戒管制員)並びにプログラム幹部及び電算機処理員の教育を実施している。



要撃管制幹部教育



警戒管制員教育



プログラム幹部及び電算機処理員教育

第2教育部

陸、海、空自衛隊の航空管制員課程及び飛行管理員課程の教育に当たるとともに、日米共同訓練参加者及び米留等の要員に対する英語教育を実施している。



航空管制員課程教育



飛行管理員課程教育



英語教育

教育器材

日々進化する運用器材に合わせ、術科教育に使用する器材も最新の装置を導入している。



JADGEコンソール



CAI実習装置



進入管制実習装置

共通教育

第5術科学校への入校期間は、長い課程で約1年、短い課程で約1ヶ月となる。この間、学生は技術だけでなく、自衛隊員としての一般教養や教練、体育等の教育を受けることになる。



学生水泳大会



史跡研修(大山城)



身分証明書着飾等の確認



朝礼後の課業行進訓練



教練



学生駅伝大会

学生隊

本部班、第1中隊、第2中隊、幹部区隊、30区隊(陸上自衛隊)、40区隊(海上自衛隊)から編成され、自衛隊員としての職事に重点をおき、メリハリのある教育を実施している。